

日中友好協会
岡山支部
No. 524
2007/11/5
TEL:086-272-3010
FAX:086-272-3011
http://rizhong.jp/index.html

日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒111-0055 東京都千代田区千代田
西葛西1-1-1 東武千代田ビル

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

映画『日本の青空』上映会 参加者870名

岡山上映会は10月20日、三木記念ホールで午前・午後・夜の3回上映され、合計870人が参加、目標には届かなかったものの、鑑賞された参加者が「よかった」、「よくわかった」など口々に感想を述べたこと、当日清算されなかった入場券の数字などからほぼ成功との見通しができました。

内容は岡山上映会発行の協力券740枚、倉敷発行分34枚、当日入場者81、全国共通券1枚、スタッフ14(若干の重複分あり)です。会場へは若者の数が目立ち、うち学生券が約70枚(一般との区分不明が数枚)ありました。中でも弁護士九条の会から半数を超える38枚があったことが特筆されます。

報道各紙、 紹介記事次つぎと

日本の青空紹介記事は、これまで紹介した以後も下記のように数多く出され、読者からの問い合わせがあつたことも今回の上映会の特徴となっています。

- 以下掌握している範囲で紹介しますが、漏れがある場合は事務局へご連絡ください。次号(最終号)でお知らせします。
- 10月17日 山陽新聞 文化欄
 - 10月18日 毎日新聞 県内版 (写真入)
 - 同日 しんぶん赤旗 中四国版
 - 10月20日 朝日新聞 県内版
 - 10月24日 毎日新聞 全国版 (ひと欄)

倉敷・津山上映会成功へ 全面的なお力添えを!

岡山上映会は残念ながら最低でも1000人という目標には達成できませんでした。鑑賞された皆さんにぜひお願いします。

一人でも多く県民の皆さんに観てほしい、その願いを実現するために、今回鑑賞できなかったまわりの友人・知人に、あるいは倉敷・津山周辺に在住しているお知り合いに下記会場を、紹介し、お

勧めしてください。

実行委員会では当時上映を決定していなかった段階で岡山・倉敷共通券と確認して、いきました。その後津山でも上映が決定したという事で、「協力券」という性格から、あるいは上映目的から、津山会場でも共通することとします。チケットを持っていないお知り

第32回中国料理教室 「吉林省の家庭料理」



今回は、中国「残留」日本人孤児の赤澤栄子さんを講師にお招きして、赤澤さんが長年暮らしてこられた吉林省の家庭料理、「水餃子」他に「炒土豆絲(チャオトウドウスイ)」「わかめと卵のスープ」を予定しています。

11月18日(日曜日)
10時~14時
大元公民館

- 参加費: 1100円
日中会員は、1000円
- お申し込みは: 竹内けさゆき まで
TEL(FAX兼用) 086・264・1414
Eメール rizhong86@hotmail.co.jp

○当日持参するもの
エプロン、料理が残ったときのためタッパーなどを持参ください。

まだ参加の申し込みは少数です、ぜひとも皆様大勢の方々のご参加をお待ちしています。

合いの方は、下記へ連絡して前売り券の申し込みをしてくださるようお願いいたします。

倉敷会場

- 11月4日(日)
- ① 10:00 ~ ② 13:30 ~
- くらしき健康福祉プラザ

倉敷市街180 (086-434-9849)
問合せ先 086-465-7247(原田)

津山会場

- 11月11日(日)
- ① 15:00 ~ ② 18:00 ~
- リージョンセンター
・ペンタホール

津山市大620 (0868-27-7150)
問合せ先 0868-22-3426(中西)

※ 通じない場合は

岡山上映委員会事務局
090-1683-2050(石井)まで
日本の青空ニュースより

随想...私と日中...

ちょっと得した気分になりませんか?

私は24年前に岡山支部の太極拳講習会に入門し、日中友好協会に出会いました。最初は太極拳を教えるという目的に講習会に参加してました。友好運動には興味もあつたし、良いことだと思つていました。が、わざわざ友好運動や平和運動に時間を割くことは若かった私には難しく面倒で、そのことを少し後ろめたく感じていました。そんな私に当時の岡山支部の太極拳の担当理事は太極拳をすることが友好運動そのものだ。と言いました。外国の文化を学び、好きになれば、その国の文化や他の文化にも興味が出てきて、ましてや戦争なんかはする気にもならない。そんな人たちが増えることが、理屈抜きで平和運動の力の元になることを教えてくれました。

そんなに若くは無い今でも、なかなか太極拳以外の運動には参加できませんが、大好きな太極拳を普及すること、友好運動や平和運動に貢献できていると思ふと、ちょっと得した気分になります。他の団体に太極拳をしていたら、こんな気持ちにはなれなかったかもしれせん。中国語講座や中国料理教室などの日中の文化活動に参加しているみなさんも、それだけで平和と友好の輪を拡げているのです。

ちょっと得した気分になりませんか?

岡山支部 太極拳担当理事 青木正美

各分野の活動

- 中国語講座について、現状が報告されました。9クラスで42名の受講生ですが、人数に偏りがあり、3名を切るクラスは合併することになりました。
- 料理教室は11月18日(日)に大元公民館で開かれることになっていて、その練習会がすでに14日に開催されたことが報告されました。レシピも完成し、着々と新しい陣容で進んでいます。
- 太極拳講習会は、10月27・28日の両日に渡り大芦高原で恒例の合宿が行われることになっていると報告がありました。
- 残留孤児支援について、11月25日に日本語教室3周年の記念行事が、長岡県宮住宅集会所で行われることが報告されました。また、12月1日午前10時、岡西公民館にて、支える会の幹事会が開催されます。
- 文化講座について、長く開講されていせんが、残留孤児の方には何か発表していただけないかという意見が出ました。今後、日程など調整することになりました。

理事会だより

10月23日(火)午後6時、林病院会議室にて、二〇〇七年度第4回の理事会が開かれました。出席者は、青木、稲葉、宇野、金光、小林、真田、竹内、西森理事でした。

経過報告の後、議事として、・会員の増減について・今後の拡大目標について・カレンダーの普及状況について・孤児訴訟裁判ニュースなどが話し合われました。

財政は変わらず自転車操業ですが、前納によって回っていると報告されました。



現代中国の教育事情

10

山陽学園大学教授 班 偉

岐路に立たされる大学の苦悩

実際に大学に入ってから、またいろいろな問題があります。

一昔前、私たちの大学時代は良かったなと思います。

授業のときに中国人留学生にその話をすると、懐古趣味に耽っている班先生も年だなあ」と笑われますが、昔は本当に良かったのです。

中華料理もおいしかった。今の中華料理は、添加物が多過ぎて体に悪いし、味もそつけない、今と昔とでは、ソーセージの味は全然違います。

大学も20年前とは随分変わりました。昔は大学といえば象牙の塔で、大学生といえば世間のエリート。大学に入れる人は同世代の約1%、募集定員は年間20〜30万人程度の狭き門でした。それが今では何と1年で500万人も採るので、この30年足らずの間で、中国の大学はそれくらい変わりました。

昔、中国の大学にはバツジがありました。日本にはあまりないようですが、当時、大学に入ったら大学生

に教科書とともにバツジが配られ、みな各大学のバツジを付けていたのです。入学したばかりのフレッシュマンのとき、私も友達もうれしくて、バツジを付けてみんな一緒に繁華街で意気揚々として歩いていたので。

本当はまだ英語をそんなに勉強してはいくせに、わざと分厚い英語の書物を脇に挟んで映画館に行き、女の子の隣に座って真剣に勉強をしているような格好をつける人もいました。

私も、夏休みに黄土高原や内モンゴル草原のほうへ、一人旅をした時、バツジを見たら通り掛かるトラックが止まってくれて、お兄さん、乗って乗ってと言われ、無銭旅行、放浪の旅をしたものでした。わざわざ切符を買うのはもったいないので、勝手にトラックや貨物列車に乗り込んだりもしました。大学バツジ一つで通用する時代で、それに対する信用があったのです。古き良き時代でした。

あのころは良くも悪くも社会主義の時代です。国家建設のために人材育成をするという建前論から、学費はもろろん要らないし、寮費(全寮制)も食事代も全部無料でした。

日本の防衛大学と一緒にですね。だから、いくら貧しい農家の子どもでも、大学に合格さえすれば無料で卒業でき、公務員になれたのです。

そういう意味でも、古き良き時代です。お金とは関係なく、政府要人の子どもであろうが、貧しい農家の子どもであろうが、みな頭、知識、自分の努力で勝負をするという時代でした。



北京大学の赤門

もちろん、良いことばかりではありません。当時は計画経済の時代ですから、自分で就職先を探すというところは許されませんでした。

卒業式の後、全真教室に集まり、就職担当の役人が来て指名するのです。張君、あなたは北京市役所の勤務

だと言われたら、当人がうれしい、やっただと喜ぶのですが、班君、悪いけどチベットへ行けと言われたら、泣きながら行くしかなかったのです。

ところが、私の友達の中で一人だけ、上海出身の人でしたが、田舎には行きたくないと断つたのです。

計画経済の時代において学校も会社もすべて国営ですから、1回断つたら一生就職はできないという、非常に難しい厳しい時代でした。

これは、大学受験においても同じです。トップ大学を目指している受験生は、高校の成績が十分一流大学に入れる実力を持っていても、本番で緊張して試験はあまりできなくて、ぎりぎり短大か三流大学に受かった場合、入学を断ることはできないのです。指定された大学への入学を断つたら、もう受験資格がなくなってしまうのです。

かなったのです。個人が自分の生き方を選択する自由は一切ありませんでした。でも、よくいえば就職の心配はなくて、卒業さえすれば自動的に公務員になれます。だから、当時の中国では、医学部を卒業すると同時に医者になれるし、国家試験も要りませんでした。

ところで、1994年から、中国政府は教育改革と称して大学教育を有料化しました。

現在1人当たりの平均年間学費は5000円、日本円では7万円ぐらいです。日本人の感覚では安いと思うかもしれませんが、生活費を加えると1万円を軽く超えてしまいます。

さらに人気の高い学科や専攻を志望するのであれば、若干上乗せが必要で、

中国の現在の統計データを見ると、都市部の一人当たりの平均年間所得水準は約1万円、日本円では14万円ぐらい。農家の場合はその3分の1。その平均所得額から考えれば非常に厳しいです。

特に貧困家庭、農家の子弟にとつて、大学進学はやはり高嶺の花なのです。

元アメリカ海兵隊員

アレン・ネルソン講演会

戦場の真実

2007・11・11(日)
13:30〜15:30

協賛金: 5000円

場所: 総社市立常盤小学校

体育館

連絡先: 加百智津子

Tel 0866-933-3386

1847年ニューヨーク生まれ。

1965年海兵隊入隊。沖縄の米軍基地で訓練後、ベトナム戦争に従軍。

1970年除隊。高卒の資格を取りニューヨークの大学に。

戦争後遺症に悩まされ10年余り医師のカウンセリングを受けながら青年活動にかかわる。

ニュージャージー州ガムデン市でガムデン青少年センターを開設。ボランティア活動で貧困世帯の若者相談や就職の世話などに取り組む。

1995年の9月、沖縄での少女暴行記事を機に、米兵を本国に連れ戻す運動を開始。

1996年5月、30年ぶりに沖縄を訪れる。家族は妻と子ども2人。著書に「ネルソンさんあなたは何人を殺しましたか他。」

1931年から十五年におよんだ侵略戦争で加害者となった兵士たちは、人間性を奪われ、鬼へと変わっていった。

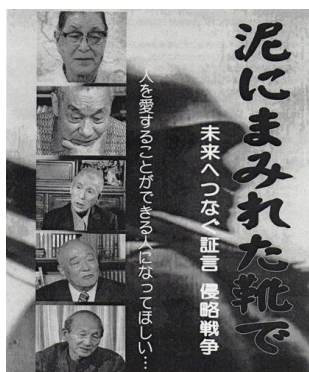
1947年、侵略戦争の深い反省にたつて生まれた日本国憲法が公布。罪を自覚し自らの体験を語り始めた兵士たち。

憲法9条をゆがめるのは戦争をするため

過ちを繰り返してはならない

侵略戦争を体験したかつての兵士たちは訴え続けた。

お申し込みは、日中岡山支部まで



DVD 26分 ¥3150

1931年から十五年におよんだ侵略戦争で加害者となった兵士たちは、人間性を奪われ、鬼へと変わっていった。

1947年、侵略戦争の深い反省にたつて生まれた日本国憲法が公布。罪を自覚し自らの体験を語り始めた兵士たち。

憲法9条をゆがめるのは戦争をするため

過ちを繰り返してはならない

侵略戦争を体験したかつての兵士たちは訴え続けた。

お申し込みは、日中岡山支部まで

次の新聞送付作業は
11月12日(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林和
竹内和
坪井和
服部和

岡山映画祭2007 「花の夢」

11月11日(日)

岡山県立美術館ホール

前売1000円(当日1300円)

開演13:00 15:10

14:40〜東志津監督のトーク

出演の栗原さんも来岡予定です。

お問い合わせ: Tel・fax 086-254-0238

第39回全国きりえコンクール

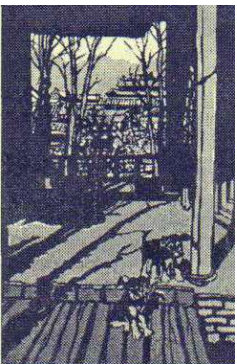
ポストカード

「秀作 きりえ集」

定価: 1,000円(カラー12枚)

日本中国友好協会が毎年開催している全国きりえコンクール。第39回の優秀作12作品がポストカード(絵葉書)になりました。

きりえの創作・普及活動の一層の発展のために、訪中の際のお土産に、集会・きりえ展などで是非ご活用ください!



最優秀作 早瀬ふさこ『東河村の子犬』(中国)